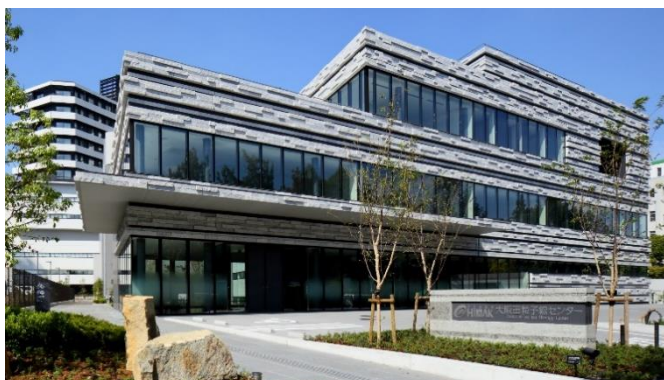


## 研修先 施設紹介 1

### 大阪重粒子線センター



#### 所在地

〒540-0008 大阪府中央区大手前 3-1-10  
代表 TEL : 06-6947-3210

#### 沿革

2018年03月 開院（外来診療開始）  
2018年10月 重粒子線治療開始  
2024年05月 4,000名を超える患者様の重粒子線治療を実施

#### 大阪重粒子線センターの紹介

大阪城を望むアクセス至便な地に、大阪初となる民設民営の重粒子線がん治療施設「大阪重粒子線センター」は誕生しました。2018年10月より重粒子線治療を開始し、2024年5月までに4,000名を超える国内外の患者様の治療を行っています。

重粒子線がん治療装置は、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（量研/QST）の前身である放射線医学総合研究所において、1993年に世界で初めて開発に成功した日本が世界に誇る技術です。そして現在では、当センターを含め国内7か所で重粒子線によるがん治療が行われています。

当センターでは強力かつ腫瘍選択的に照射可能な炭素イオンを用いた重粒子線治療を実施しています。重粒子線の特徴は粒子が重いことでX線や陽子線に比べ体内の線量分布に優れ、特に正常組織を傷つけることなく、QOL（クオリティーオブライフ：生活の質）維持に優れるとともに、がん細胞殺傷効

果も高い低侵襲ながん治療法だと言えます。

がん治療で重要な点はいかに治療効果をあげ、いかに副作用を抑えるか、という二律背反の目的を達成することです。しかし、これまでは治療後の生存率を最優先とし、患者様の QOL についてはあまり重きを置かれなかった傾向にありましたが、今や、2 人に 1 人はがんを患い、3 人に 1 人はがんで亡くなる時代です。また人生 100 年時代を迎えて、今までの病気を治療することに重点を置いた医療から、「生活の質（QOL）」をより重要視する医療が求められています。成績が同等であれば非侵襲的治療（体に負担の少ない治療法）が選ばれる時代となり、重粒子線治療は痛みも伴わない治療で、入院も不要で、QOL 維持に優れ、まさにこの目的に合致しています。

また、各がん治療領域の長足の進歩により、優れた治療法を組み合わせた「集学的治療」の時代になってまいりました。重粒子線単独治療に加え、同じがんでも複雑な症例・進行した症例には集学的治療が有効となってまいります。例えば重粒子線＋化学療法がその一例です。がんの局所には強力ではあるが体に優しい重粒子線治療、それに加えて全身療法、または転移巣に対する化学療法を無理なく併用することが可能です。当センターでは各臓器のがん領域の専門医師が診察・治療にあたり、また迅速な治療開始を実施しています。

## ホームページ

大阪重粒子線センターや重粒子線治療の適応疾患については、当センターホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-himak.or.jp/>